



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月27日

上場会社名 株式会社ダイユーエイト 上場取引所 東  
 コード番号 2662 URL http://daiyu8.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅倉 俊一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長 (氏名) 石黒 隆 (TEL) 024 (545) 2215  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績 (平成26年2月21日～平成26年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	10,723	7.2	491	78.4	505	90.4	260	47.1
26年2月期第1四半期	10,001	2.2	275	△34.6	265	△34.5	176	△21.9

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 250百万円( 31.7%) 26年2月期第1四半期 190百万円( △9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	33.65	—
26年2月期第1四半期	22.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	28,220	5,821	20.5
26年2月期	27,850	5,647	20.2

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 5,804百万円 26年2月期 5,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年2月21日～平成27年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,450	0.1	725	2.0	727	2.6	410	△25.2	53.01
通期	42,000	1.8	1,050	2.9	1,050	3.0	600	△26.7	77.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	7,734,000株	26年2月期	7,734,000株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	117株	26年2月期	117株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	7,733,883株	26年2月期1Q	7,733,883株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年2月21日～平成26年5月20日)におけるわが国の経済は、政府による経済政策、日銀による金融緩和が功を奏し、堅調な企業収益を背景に総体的に緩やかな回復基調が見られました。また、個人消費は4月の消費増税前の駆け込み需要により高く伸長したほか、設備投資についても好調に推移いたしました。しかしながら、4月以降の消費増税に伴う実質所得の減少および駆け込み需要の反動懸念、円安に起因する原材料等の調達コスト増など、依然として国内景気の先行き不透明感を払拭しきれない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは当第1四半期連結累計期間におきまして、新規出店として、ホームセンター「ダイユーエイト」は3月に新庄西店(山形県)を開店いたしました。ペット専門店「ペットワールドアミーゴ」は山形北店(開店4月 山形県)を開店いたしました。また自転車専門店「One's cycle」は、ドミナント化の深耕を図ることを目的に、既存店の出店エリアである福島県郡山市に1店舗開設いたしました。これにより当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、93店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の連結売上高は107億2千3百万円(前年同期比7.2%増)、連結営業利益は4億9千1百万円(同78.4%増)、連結経常利益は5億5百万円(同90.4%増)、連結四半期純利益は2億6千万円(同47.1%増)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

#### [ホームセンター事業]

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客数は3.2%減少しましたが、客単価が前年同期比で7.4%増加したことから、既存店売上高は4.0%増加いたしました。

セグメント売上高につきまして既存店ベースでの商品別販売動向は、消費増税前の駆け込み需要により、カーポート、物置等のエクステリア関連商品、インテリア、収納用品、石油暖房、白物家電等の家電製品、用土、肥料等の園芸用品の売上が好調に推移するとともに、日用品、ペット用品等の消耗品のまとめ買いもあった影響で、前年同期比で大きく売上高が伸長いたしました。4月1日以降は駆け込み需要の反動減もあり、家電製品、収納用品等の売上高が前年同期比で減少いたしました。しかしながら、強化部門である植物、園芸用品、ガーデニング用品、木材塗料、工具金物等のホームニーズ商品が好天の影響も相俟って売上高を牽引したこともあり反動減による売上高の下げ幅は当初の計画数値の範囲内で推移いたしました。

セグメント利益につきましては、主力部門である植物、園芸用品、ガーデニング用品等のホームニーズ商品を中心に商品の「差異化」を推進し、従来の商品と併せて、高付加価値商材を積極的に投入し、お客様の暮らしに「新たな価値」を創造できる品揃えの実現および価値の訴求に重点的に取り組んで参りました。その結果、ホームニーズ商品の売上構成比が増加し、商品荒利益率は既存店ベースで前年同期比0.7%改善し、29.6%となりました。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は86億5千8百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は6億8千9百万円(同33.7%増)となりました。

#### [不動産事業]

不動産事業における売上高は1億9千7百万円(前年同期比3.5%増)、セグメント利益(営業利益)は8千2百万円(同7.1%増)となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第1四半期連結会計期間末において計5箇所あります。

#### [その他]

当事業における売上高は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業により21億7千1百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント損失(営業損失)は1千3百万円(前年同期はセグメント損失4千3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億7千万円増加し、282億2千万円となりました。この主な要因は、新規出店に伴うたな卸資産の増加等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億9千7百万円増加し、223億9千9百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、電子記録債務の減少、短期借入金の増加、1年内返済予定の長期借入金の増加、長期借入金の減少等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億7千3百万円増加し、58億2千1百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月2日付「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました業績予想値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(役員退職慰労引当金)

当社は、役員の退職慰労金の支払いに備えるため、会社内規に基づく必要額を計上しておりましたが、平成26年5月16日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給が決議されました。これにより役員退職慰労引当金を全額取り崩し、功労加算金部分を合算して401,058千円を固定負債の「その他」に振替えております。

なお、当該功労加算金部分は88,181千円であり、特別損失の「役員退職慰労金」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,656,509	1,331,972
売掛金	324,909	396,067
有価証券	4,584	4,431
たな卸資産	7,442,940	7,991,791
その他	507,812	560,883
流動資産合計	9,936,756	10,285,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,801,080	17,216,900
減価償却累計額	△8,246,390	△8,397,323
建物及び構築物(純額)	8,554,689	8,819,576
土地	1,926,347	1,926,347
リース資産	1,355,887	1,403,727
減価償却累計額	△643,427	△709,950
リース資産(純額)	712,459	693,777
その他	1,018,789	720,777
減価償却累計額	△342,006	△352,982
その他(純額)	676,782	367,795
有形固定資産合計	11,870,280	11,807,496
無形固定資産		
のれん	570	427
その他	1,244,494	1,245,114
無形固定資産合計	1,245,064	1,245,541
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,975,554	3,010,656
その他	1,841,335	1,890,757
貸倒引当金	△18,990	△18,990
投資その他の資産合計	4,797,899	4,882,423
固定資産合計	17,913,244	17,935,461
資産合計	27,850,000	28,220,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,196,307	5,500,456
電子記録債務	660,676	554,412
短期借入金	2,750,000	2,925,000
1年内返済予定の長期借入金	2,392,451	2,512,102
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
リース債務	306,782	264,413
未払法人税等	134,518	273,144
その他	2,300,077	1,997,613
流動負債合計	13,850,813	14,137,143
固定負債		
社債	105,000	85,000
長期借入金	5,766,294	5,597,416
リース債務	524,618	539,069
退職給付引当金	237,897	246,495
役員退職慰労引当金	309,368	-
長期預り保証金	1,102,565	1,087,544
資産除去債務	152,701	156,224
その他	153,043	550,593
固定負債合計	8,351,489	8,262,344
負債合計	22,202,303	22,399,487
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,303,173	1,303,173
資本剰余金	1,224,682	1,224,682
利益剰余金	3,013,713	3,196,647
自己株式	△74	△74
株主資本合計	5,541,493	5,724,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,880	80,953
繰延ヘッジ損益	△1,181	△931
その他の包括利益累計額合計	91,699	80,021
少数株主持分	14,503	16,671
純資産合計	5,647,697	5,821,120
負債純資産合計	27,850,000	28,220,607



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)
売上高	10,001,306	10,723,589
売上原価	7,131,519	7,508,151
売上総利益	2,869,787	3,215,438
販売費及び一般管理費	2,594,177	2,723,569
営業利益	275,610	491,868
営業外収益		
受取利息	3,669	5,317
受取配当金	-	582
受取手数料	32,376	40,057
その他	25,165	24,578
営業外収益合計	61,211	70,534
営業外費用		
支払利息	37,673	36,713
借入手数料	12,118	12,864
その他	21,737	7,632
営業外費用合計	71,529	57,209
経常利益	265,292	505,193
特別利益		
受取損害賠償金	37,719	37,622
その他	450	1,525
特別利益合計	38,169	39,147
特別損失		
固定資産除却損	1,553	1,016
役員退職慰労金	-	88,181
特別損失合計	1,553	89,198
税金等調整前四半期純利益	301,908	455,142
法人税、住民税及び事業税	155,838	265,244
法人税等調整額	△28,942	△72,542
法人税等合計	126,896	192,702
少数株主損益調整前四半期純利益	175,012	262,440
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,819	2,167
四半期純利益	176,831	260,272

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	175,012	262,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,836	△11,927
繰延ヘッジ損益	469	249
その他の包括利益合計	15,306	△11,678
四半期包括利益	190,318	250,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,137	248,594
少数株主に係る四半期包括利益	△1,819	2,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至 平成25年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,162,363	189,585	8,351,949	1,649,357	10,001,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,020	1,020	428,462	429,482
計	8,162,363	190,605	8,352,969	2,077,820	10,430,789
セグメント利益	515,638	76,991	592,630	△43,774	548,855

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサブライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	592,630
「その他」の区分の利益	△43,774
セグメント間取引消去	△1,715
全社費用(注)	△271,529
四半期連結損益計算書の営業利益	275,610

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、従来、「その他」に含めておりました「ハーブ・花・苗事業」を「ホームセンター事業」の区分に含めております。これは、平成25年6月21日付で「ハーブ・花・苗事業」を営む連結子会社であった株式会社エイトファームを、当社が吸収合併したことによるものであります。

また、前第3四半期連結会計期間において、従来、「その他」の区分に含めておりました「リフォーム事業」を「ホームセンター事業」の区分に含めております。これは、平成25年8月26日付で当社が「リフォーム事業」を営む連結子会社であった株式会社ダイユーエイト・ホームサービスの事業の全部を譲受けたことによるものであります。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年2月21日 至 平成26年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,658,077	197,438	8,855,515	1,868,074	10,723,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	303,454	303,454
計	8,658,077	197,438	8,855,515	2,171,528	11,027,044
セグメント利益	689,909	82,485	772,394	△13,044	759,350

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	772,394
「その他」の区分の利益	△13,044
セグメント間取引消去	1,067
全社費用(注)	△268,549
四半期連結損益計算書の営業利益	491,868

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。